

認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

3/27 受理

法人名	株式会社あつぷる	事業所名	あつぷるグループホーム広畑
所在地	兵庫県姫路市広畑区鶴町1丁目41-1		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所理念は玄関や各ユニットの事務所および台所に掲示しており、利用者個々の日課を大切にする取り組みが事業所全体で実践できている。			玄関に掲示し、職員だけでなく利用者や家族様とも共有していきます。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響から、職員のみがゴミ出し当番や地域の清掃活動に生活している状況となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でどのような活動が行われているかについて、地域の自治会へ尋ねられてみてはいかがでしょうか？コロナ禍の今何ができるかを今一度事業所の職員の皆さんと一緒に考えてみてください。 		コロナの状況をみながら、推進会議等で情報収集し、今できることを考えていきます。
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響もありながら、運営推進会議は対面での開催が実施できている。管理者やケアマネがを中心となり取り組みの状況について写真を用いて参加者へ、報告している。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の内容について、少し検討されてはどうでしょうか。(例えば、ヒヤリハット報告や事故、身体拘束や虐待防止の取り組みなど) 		推進会議の場で、ヒヤリハット報告行い、再発防止の策を相談する。また、認知症の進行予防に役立つ情報も収集し実施する。

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍ではあるが、運営推進会議に参加する地域包括支援センターへの情報共有や情報提供を受けるなど連携を図っている。	・コロナ禍に伴う、ワクチン接種など介護保険課や場合によっては保健所との連絡も今後出てくる可能性もあるので、今後も連絡を密にとってほしい。		連携を大切に、今後とも必要に応じて連絡を取り協力関係を維持していく。ワクチン接種についてもスムーズな接種ができるよう連携とる。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月行っているミーティングのなかで、身体拘束についての研修を実施している。また、チェックシートを用いて、事業所全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月のミーティングを継続し、職員全体で拘束のないケアに取り組んでいく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的な研修の実施や毎月のチェックリストによる確認を通して、可能な限り利用者の自由を奪うことがないように、全職員で徹底している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月チェックし自身の言動を見直すことで虐待を未然に防いでいきます。職員のストレスに周りが気付き、声をかけられる環境を築く。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	オンライン研修の受講、日常生活自立支援事業や成年後見制度を活用する必要がある利用者や家族に情報提供できるように、に事務所にパンフレットを設置している。			定期的な研修を継続し、知識向上に努める。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の際には、パンフレットや契約書、重要事項説明書を使って分かりやすく説明している。質問や疑問点がないかを確認しながら、説明するよう心掛けている。			契約の際は、時間をしっかり設け、利用者様・家族様が十分に納得していただけるよう丁寧な説明を心がける。

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の家族に対して、アンケート調査を実施し、事業所の運営についての満足度を把握している。アンケート調査の結果に基づいて改善を図っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アンケートの結果に対し、十分に検討し改善とサービスの向上に努める。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員に対するアンケートを実施している。また、ミーティングでも、意見交換や提案する機会を設けてサービスや運営に反映させている。			毎月のミーティングやアンケートをもとに、サービス向上に努める。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員一人ひとりの家庭環境を考慮しながら、仕事との両立ができるよう勤務調整や休暇取得、資格取得のサポートと手当での支給などを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の家庭環境を把握し、家庭との両立ができるよう勤務時間等の配慮を行う。有給休暇も積極的に取得して頂いています。
12	職員を育てる取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により、外部研修の受講は減ってきているが、オンラインによる研修を受講している。今後、看取り後の職員の振り返りや家族に対する精神的にフォローするための学びの機会(グリーンケア)を設けたい。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修を充実させ、職員の知識向上に努める。資格取得に対しバックアップ体制を取る。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響から、他事業所との交流は減ってきているが、徐々にグループホーム連絡協議会などで情報交換を行っている。			コロナにより、交流の機会が減っているが、グループホーム連絡会の研修(ZOOM)に積極的に参加し、情報交換していきたい。

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常的な家事において利用者の持てる力が発揮できるよう、役割を提供しながら、コミュニケーションを大切にされた支援を行なっている。			個々の持てる力を発揮できるよう、それぞれに合った支援を考える。役割を持つことで、いきる活力に繋がるよう支援する。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、オンラインによる通話や状況に応じた面会など柔軟な対応を行なっている。	・電話や手紙などを使っ ての交流も必要ではない でしょうか。そういった 支援は行なわれていますか。		年賀状や電話での交流をされている方もいるが、減っている。職員、家族が補助することで、交流が行えないか考える。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、日常的な会話や表情などから思いや意向の把握に努めている。また、利用者個々に応じたペースを大切にされた支援を心がけている。			共同生活ではあるが、出来る限り本人の望む生活、意向に沿った暮らしに近づけるよう、利用者様・家族様からの聞き取りを定期的に行う
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の意向に基づいた介護計画を作成し、計画に基づいた支援の状況について毎月行うモニタリングで確認している。ミーティングの中でも、利用者に対する気づきを話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	・利用者の気づきを話し合う事で利用者に寄り添った介護計画が作成されていることが分かりました。 ・認知症の進行に伴い、意向が把握しにくい方もおられると思うので、そのあたりの取り組みはあるのでしょうか。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	担当者会議、ミーティングの場で、現状確認し、ケアの方針を決めている。変化に気づき、現状に適したケアに努める。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の記録をカルテに記載や日報に記載し、情報共有を行っており、力を入れている。また、ミーティングの中で話し合った内容に基づいて、介護計画の見直しに活かしているが、さらにステップアップできるよう工夫していきたい。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	記録を共有し、状態の変化に気づけるよう努めている。現状を把握し、必要なケアを実施する。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常支援での気づきから常に状況に応じた支援を心がけており、多様なニーズに応えられるよう力を入れている。また、家族からの意向を踏まえた最善の支援に繋がるように支援している。さらに利用者や家族の状況に応じたニーズに対して支援していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、社会資源が活用できない状況ではあるが、コロナの動向を注視しながら、事業所内での支援にとどまらない支援を取り入れて行ってもらいたいと思います。 ・看取りについて、力を入れて取り組まれている事が確認できたのでさらにステップアップしてほしいですね。 	/	コロナ禍で、生活の中心が施設内になっているのが現状ではあるが、体力低下を防止するための取り組みや、家族や友人との交流の場を少しずつ設けていきたい。また、グループホームでの看取りが増えている中、関わる職員の知識向上にも力を入れていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響から、事業所内での暮らしを支える支援が行えるよう努めてきたが、外出自粛に伴い、地域の資源を把握したり、活用する取り組みには至らなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの動向を注視しながら、事業所内での支援にとどまらない支援を取り入れて行ってもらいたいと思います。 ・地域資源の把握に努めてほしいと思います。 	/	コロナの動向を注視しながら、出来る範囲で地域資源を活用していきたい。

21	かかりつけ医の 受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時にこれまでかかっていた医療機関での診療がこれからも受けられることや事業所の協力医への変更ができることを説明したうえで、利用者や家族に選択してもらっている。また、訪問看護事業所との契約により定期的な健康管理や口腔衛生、助言や相談など、適切な医療が受けられる体制となっている。	/	/	契約時に、かかりつけ医の継続と、協力医の訪問診療とを選んでいる。訪問看護の利用により、体調の変化にも早く気づき、早めの受診ができるよう体制を取っている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者を中心に、入院先医療機関の地域医療連携室の担当者との連絡を密に行い、病状や医療に関する情報提供を受け、退院後の生活に大きな変化が出ないように県境整備に努めている。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院中の利用者様の状態を把握するため、地域連携室と連携を取り、早期退院に向け、施設でも受け入れの体制をとる。家族様の意向、利用者様にとって一番良い方向で考えていく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化や終末期の意向を家族などに確認し、意向に沿った支援ができるよう十分な話し合いをおこない、事業所での看取りを希望される場合については、管理者をはじめとする主治医や看護師と連携しながら事業所での看取り介護に取り組んでいる。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に、重度化・終末期の要望を聞き、意向に沿った支援を行う。看取りの際は、ご本人様・家族様・主治医・看護師・職員がチームとなり、取り組んでいく。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に緊急対応(AEDの使用方法など)について、法人での研修や内部での定期的な研修を実施している。			緊急時の対応に関しては、定期研修を行っている。緊急連絡網を作成し掲示している。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災を想定した、初期消火訓練や通報訓練、避難訓練を定期的に実施している。コロナ禍の為地域との合同訓練は実施できなかったが、水害などに対しては、法人グループの建物に避難できる体制となっている。	・介護保険報酬改定に伴う、災害時の事業継続計画(BCP)の策定が義務付けられているので(経過措置期間あり)、法人全体での検討は進められているのでしょうか。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的な避難訓練実施。緊急避難確保計画・BCP着手してます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴や排泄などの場面においては、ドアを閉めたり、見守り支援を行っているほか、利用者の自尊心を傷つけないよう、プライバシーや人格に配慮した声かけを行っている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアを行う際の、声かけや対応が自尊心を傷つけないよう配慮する。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	時間的な制約はあるが可能な限り、利用者の性格や暮らし方に合わせて、入浴や食事の時間をずらすなど、利用者の希望に沿った支援が行えるよう支援している。			出来るだけ利用者様のペースに合わせ支援する。入浴時間、食事時間など意向に沿えるよう工夫していく。

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	メニューを伝え、目で見て楽しめるよう声かけをおこなうことやテーブル拭き、食器洗いなど、利用者の持てる力を活かしながら支援している。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	多様な食事形態を準備し、個々の状態にあった食事提供を行う。お楽しみメニューを考え、食事を楽しみを持てるよう支援する。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	普通食のほか、咀嚼機能や嚥下困難な方に対しては、刻み食やソフト食を提供している。また、栄養価が低い方に対しては、栄養補助食品などを追加することにより、栄養バランスを考えた支援を行っている。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせて、食事形態やスピード、食事のタイミングを考え、安全に摂取していただく。口腔の状態も定期的に歯科医より指導いただいている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	朝・昼・夕食後には、歯磨きやうがいなどの口腔ケアを行っている。また、定期的な歯科往診や口腔ケアを通じて利用者に応じた口腔ケアが行なえるようになってきた。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的な歯科往診により、口腔内の状態を把握している。歯科医、衛生士の指導のもと、口腔ケア実施していく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者個々の排泄間隔やチェック表に基づいて、トイレ誘導や声かけによる排泄支援を行っている。便秘についても、内服のみに頼らず、腹部のマッサージなどをおこない自然排便に向けて取り組んでいる。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様の排泄パターンをチェック表で確認し、声掛け誘導を行う。排便に関しても、出来る限り下剤を使用せず、乳製品や運動、マッサージを通し、通便を促している。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	午前中の中の入浴時間を設けているが、可能な限り利用者個々の要望に合わせて時間的な配慮を行っている。勤務体制や人員体制によって、決まった時間での入浴となることもある。			入浴前の体調確認、入浴後の水分摂取で安全に入浴できるよう努めている。入浴剤で楽しみを持っていただいたり、希望の時間に入浴ができるよう職員体制を整えていきたい。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	昼夜逆転にならないよう、日中は活動的に過ごせるように支援している。活動については、無理強いすることなく利用者のペースに合わせて居室内の環境整備を行うなど、安心して良眠できるよう支援している。			日中の活動、室温などを考え安眠できるよう努める。出来るだけ薬を使用せず、安眠できるように支援する。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	調剤薬局より処方された内服はお薬の説明書とともに、ホーム内で管理している。また、服薬支援については、日常の様子を観察しながら、服薬後の利用者の変化を見守っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居宅療養管理指導サービスを利用し、薬の管理や相談ができる体制を取っている。服薬介助の際は、名前の確認等、基本を怠らず事故防止に細心の注意を払う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の趣味や嗜好、対人関係など、利用者個々に応じた情報収集を行い必要な支援を行っている。コロナ禍の影響から、気分転換を兼ねた外出支援は行なえていない。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		入居後も趣味の継続ができるよう支援する。役割を持つことで、生きる活力に繋がりたい。

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響から、外出を自粛しており、近くの公園へ散歩に行くことはあるが、利用者の希望に沿った、ドライブや買い物、散歩など日常的な支援を積極的に、行なえていない。	・日常的に外気に触れる機会を作られてはどうでしょうか。(水やり、散歩など) ・寒い時期や暑い時期は難しですが、外気浴なども必要ではないでしょうか。		コロナ禍で外出制限がある中で、出来る事を探っていきたい。車中から街並みや景色を楽しめるドライブ外出や、少人数による個別外出など、感染予防に努めながら実施していききたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるようにしたりできるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響から、買い物などで利用者がお金を使う機会は少なくなっている。必要時に応じて事業所で管理しているお金と一緒に買い物に行く取り組みに努めている。			お金の管理が難しい方が多くなっている中で、一緒に支払いができる機会を設けるなど、考えていきたい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙をやり取りしたりできるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の受け答えや手紙のやり取りなど難しい方もおられ、積極的な支援は行なえてない。利用者自ら携帯電話で連絡される方もおられる。			電話や手紙を利用されている方は少ない。補助することで可能な方法も考え、大切な方との関りが途切れないうよう支援していく。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仲の良い利用者間の関係性が保てるよう配慮を考えたり、利用者と一緒に作った創作活動の作品を共同生活空間に掲示することにより季節感をもってもらえるように支援している。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースの環境整備に努める。また、コミュニケーションがとりやすいテーブル位置を考え設置しています。季節の飾りで、施設内でも季節感を感じていただけるよう空間作りに力を入れています。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		<p>本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、外出したい時に外出支援ができない状況下ではあるが、利用者の日々の暮らし方は利用者や家族からの情報を把握し、意向に沿った過ごし方が出来るよう支援している。</p>			<p>意向に沿った支援ができるよう、家族様からの情報をもとに、支援していく。</p>
41	<p>本人主体の暮らし</p>	<p>本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>入居時の情報収集とともに、入居後の利用者の生活歴や暮らしの週間、生活や特徴などの得られた情報についても、職員間で共有し、利用者個々に応じた暮らし方が出来るよう支援している。</p>			<p>生活歴をもとに、その人らしい生活ができるよう支援する。入居後も今までの習慣をそのままに、出来る限り継続していけるよう支援していく。</p>
42		<p>本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>入居時の情報収集とともに、入居後の健康の維持や適切な医療、安心した支援が受けられるよう、環境整備を行っている。また、主治医や訪問看護との連携とともに、職員間での情報共有をしながら、利用者個々に応じた暮らし方に近づけるよう支援している。</p>		<p><input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>訪問看護、主治医と連携をとり、健康管理に努めている。状態の変化に気づき、早めの対応を心がけていく。</p>

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事はある程度決められた時間で摂っていたが、その他利用者の暮らし方については、利用者のペースで過ごしてもらえるよう支援している。			今までの生活習慣を出来るだけ変えず、自分のペースで生活できるよう、職員配置・人数を調整していく。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	衣類や家具、ご家族の写真など利用者が大切にしている物を持ってきていただいているが、意識的になじみのものが利用者にも与える影響については、再度認識していく必要がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室作りは、入居時に、なじみのもので家族様とご本人で配置して頂いています。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在コロナ禍の為、利用者や家族の意向に沿った戸外への外出は行なえていない。一人での外出は危険を伴うため、必要時応じて職員が付き添いしている。	・新型コロナウイルス感染症の影響から、外出が制限されるので難しい課題だと思います。 ・コロナ禍が収束した際には、利用者の希望や意向に沿った外出支援を行ってほしい。		自由に外出できるよう職員体制を整える必要がある。テラスなどで安全な場所で気分転換を図るなど、今できることから始める。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の情報や生活される中で、利用者個々の持てる力を事業所内での生活場面で発揮できるよう支援している。また、レクリエーションの場面など利用者が楽しめるよう支援している。			それぞれの能力を把握し、持てる力が発揮できるよう支援する。過剰な支援にならないよう、時間をかけ出来ることは自身で行えるよう見守り補助していく。

47		<p>本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者の身体状況の低下や重度化に伴い、全ての利用者が満足した暮らしが出来ているとは言えないが、個別での会話やしぐさや表情など活動場面の中で、利用者がいきいきと生活できることを探りながら支援している。</p>	/	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コミュニケーションが取りやすいテーブル配置を考える。会話が難しい、耳が遠いなど、職員が補助し、スムーズにコミュニケーションが取れるよう支援していく。</p>
48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、近隣住民や地域の方との関りが持てない状況となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身近におられる、地域の方やご家族と手紙のやり取りやお電話などはされていないのでしょうか。 ・会うことだけではない、つながりも検討されてはどうでしょうか。 	/	<p>直接会うことが難しい中で、手紙や電話を利用し、関わりが途切れないよう工夫していく。</p>
49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>長らく続く、新型コロナウイルス感染症に伴い、家族をはじめ地域の方との繋がりが持ちにくい状況となっている。事業所内で安心して暮らさず、職員個々に常に努力している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流は難しいと思う。 ・職員の皆さんや事業所内の利用者さん同士の親しみや安心した暮らしを送れるようこれからも取り組んでいただけたらと思います。 	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>自由が制限される中、職員・家族・地域の方々の助けをいただきながら、安心して過ごしていただけてます。今の現状で、出来ることを模索しながら、利用者様が楽しみを持ち、安心・安全に過ごせるよう努めていく。</p>